

■性能試験評価

実施試験機関：徳島県工業技術センター
(実施時期：H20.11.18～)

I 表面磨耗試験 (JAS特殊合板磨耗試験に準拠)

【試験結果】

磨耗量 0.027 (g/100回転) 磨耗は塗膜内であった。

【試験方法】

向かい合った辺の間が100mmの八角形のものを作成、中央に7.5mmの穴をあけ試験片とした。試験片をテーパー式磨耗試験機の回転盤に固定し、研磨紙を付けたゴム製磨耗輪2個を取り付け、試験片免状に加わる総荷重量はゴム製円盤を含め500gとして、100回の回転を行い、磨耗減量を求め、試験片の表面の変化を観察した。

II 鉛筆引っかき試験 (JAS特殊合板鉛筆引っかき試験に準拠)

【試験結果】3B

【試験方法】

引っかき試験機を使用し750gの荷重で試験を行い、圧痕を観察した。このとき、擬集破壊が認められなかった、最も硬い鉛筆の硬度を鉛筆硬度とした。

III 耐光性試験 (フェードメーター20時間照射) ※ビニールクロスは20時間で試験を行う

【試験結果】色差 9.61 (黄→茶)

【試験方法】

UVカーボンアーク型フェードメータを用いパネル温度63℃、相対湿度50%に設定して紫外線照射を行った。試験片の変色を分光測色計により測定し、色差を求めた。

IV 2類浸漬剥離試験 (JAS特殊合板2類浸漬剥離試験に準拠)

【試験結果】周囲部分で台板 (MDF) とシート最下層の紙との間で剥離した

【試験方法】

1辺が75mmの正形状の試験片を作成し、70±3℃の温水中に2時間浸せきした後、60±3℃で3時間乾燥した後、はく離の様子を目視で観察した。

V 施工性試験 (JIS壁紙施工性試験に準拠)

【試験結果】

横：接着できていた。

縦：2時間後に、Aの一部 (B側)、B、Cの一部の接着が浮いた。

【試験方法】

試験片 (500×200mm) に、壁紙用接着剤 (ルーアマイルド、ヤヨイ科学 (株)) を約20gを均一に塗布し、5分間放置した後下図の様に試験台 (ホオ材) に貼り付けた。貼り付けた後、2時間、4時間、24時間後に、A、B、Cの各部分の接着状態を確認した。ただし、試験は各一枚行った。

VI 汚染試験 (JAS特殊合板汚染試験に準拠)

【試験結果】

黒色速乾性インキ 色はほとんど落ちたが、導管に色が残った。

赤色クレヨン 色はほとんど落ちたが、導管に色が残った。

青色事務用インキ 色はほとんど落ちたが、導管に色が残った。

【試験方法】

試験片 (80×80mm) を水平に置いた後、下記の汚染源で幅10mmの線を引き、4時間放置した後、洗剤または溶剤を含ませた布で拭き取り24時間放置した後、試験片表面を目視観察した。〈汚染源〉黒色速乾性インキ (黒色マジック)、赤色クレヨン、青色事務用インキ (セーラー万年筆 (株) 製、ブルー万年筆インク)